

質問事項に対する回答書

(工事名)北陸自動車道 米山トンネル補強工事

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
1	10月16日	金抜設計書	単価表 No.177		建設副産物処理工で数量が10,907m <sup>3</sup> となっております。特記仕様書P4Iには約7,600m <sup>3</sup> , P20Iには約10,900m <sup>3</sup> とあります。捨土掘削 構造物掘削A,B,C,D,E,特殊部を足しますと7,605m <sup>3</sup> となりますが、差し引き3,300m <sup>3</sup> はどの部分なのでしょう。	土量変化率によるものとお考え下さい。
2	10月16日	設計図 (インバート対策工)	24/80、 44~49/80		24/80では切断工(ウォールカッター)t=150となっておりますが、44~49/80では t=200となっております。どちらが正解なのでしょう。	設計図【インバート対策工】44/80~49/80に記載のとおり、監視員通路壁の厚さはt=200mmであり、取り壊しの対象はt=200mmとなります。設計図【インバート対策工】24/80 補強ボルト工詳細図に記載の厚さt=150mmは、図内に記載のとおり事前撤去を対象にしたものとお考え下さい。
3	10月16日	設計図 (インバート対策工)	50/80		路盤材の掘削・運搬・処分の単価項目は番号111 構造物取壊し コンクリート舗装版取壊し(TypeA)でよろしいでしょうか。	そのようにお考え下さい。